

事務事業分析シート（令和8年度）

No1

事務事業コード		05-04-01		戦略プラン		☐ 協働 ☒ 業務 ☐ 財務 ☐ 人事		
事務事業名		ゆいの森あらかわの管理運営		部課名		地域文化スポーツ部ゆいの森課		
				担当者名		小沢・市川・岩本		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（8年度）		01-02-01		事務管理費				
		01-03-01		事業運営費				
事務事業の種類		☐ 新規事業（ ☐ 8年度 ☐ 7年度）		☐ 建設事業		☒ それ以外の継続事業		
開始年度		平成 28（ 2016 ）年度		根拠法令等		荒川区立ゆいの森あらかわ条例		
終期設定		☐ 有 ☒ 無 令和 11（ 2029 ）年度						
実施基準		☐ 法令基準内 ☐ 都基準内 ☒ 区独自基準		計画区分		☒ 計画 ☐ 非計画		
行政評価事業体系		分野		V 文化創造都市				
		政策		10 活力ある地域コミュニティの形成				
		施策		02 地域文化とコミュニティの拠点づくり				
目的		施設の適切な維持管理により施設の長寿命化を図るとともに、生涯学習や地域コミュニティの拠点として、中央図書館、吉村昭記念文学館、子どもひろばの3つの機能が有機的に融合した事業及び、他部署や他機関と連携した事業を展開するほか、ボランティア活動の支援を行う。						
対象者等		ゆいの森あらかわ利用者						
内容		【開 設】平成29年3月26日 【所 在 地】荒川区荒川2-50-1 【土地面積】4,111㎡ 【延床面積】10,944㎡ 【構 造】鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 【開館時間】午前9時～午後8時30分 【主な事業】 ・中央図書館、吉村昭記念文学館、子どもひろばの各機能が連携した講演会やイベント等を開催 ・地域コミュニティの拠点として、他部署や他機関と連携した事業の展開及びボランティア活動の支援						
経過		平成21年11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置 平成23年 7月（仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定 平成28年 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 平成29年 1月 竣工 3月26日 開館（開館時間 午前9時30分～午後8時30分） 4月～5月 開館記念イベント開催 令和 2年 4月 新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館（4月8日～5月29日） 令和 4年 5月 午前9時開館の実施（開館時間 午前9時～午後8時30分）						
必要性		地域の知の循環及びコミュニティ醸成の拠点として、世代や地域、目的が異なる人々が集い、交流と体験を通して、豊かな知識を育むことを支援することで地域の生涯学習や文化振興へ寄与することから必要性は非常に高い。						
実施方法		（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 ☐ 常勤職員 ☐ 会計年度任用職員 ） 夜間総合受付・設備維持管理・清掃・警備・植栽管理業務等を委託						
指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			5年度	6年度	7年度	8年度見込み	目標値(8年度)	
	①	ゆいの森あらかわ入館者数	684,244	718,631	741,862	749,000	732,000	
	②	ボランティア活動者数	134	156	159	162	150	ゆいの森あらかわ・地域図書館
③								
事務事業の分類			分類についての説明・意見等					
8年度		9年度						
重点的に推進		重点的に推進		安全・安心で快適な施設運営と設備の適正な維持管理を図り、生涯学習や地域コミュニティの拠点として、3つの機能を生かした事業を重点的に推進する。				

予算・決算額等の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
予算額		180,102	174,126	187,119	210,762	185,012	189,060	312,114
決算額（8年度は見込み）		157,790	163,426	180,837	175,270	175,074	180,182	312,114
実績 の 推移	事項名（8年度は見込み）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	修繕件数	15	21	23	22	21	19	20
	事業開催数（回）	321	350	407	457	477	496	517

予算・決算の内訳								
令和6年度（決算）			令和7年度（決算）			令和8年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
旅費	近接地内外旅費	159	報償費	報償費	560	報償費	報償費	694
需用費	光熱水費、一般需用費、家屋等修繕費	57,846	旅費	近接地内外旅費	114	旅費	近接地内外旅費	277
役務費	電話、通信、郵便、手数料等	8,384	需用費	光熱水費、一般需用費、家屋等修繕費	57,671	需用費	光熱水費、一般需用費、家屋等修繕費	118,706
委託料	施設管理に係る業務委託等	106,849	役務費	電話、通信、郵便、手数料等	8,644	役務費	電話、通信、郵便、手数料等	9,950
使用料	トイレ衛生装置・AED賃貸借等	966	委託料	施設管理に係る業務委託等	112,028	委託料	施設管理に係る業務委託等	133,214
その他	報償費・備品費等	870	使用料	トイレ衛生装置・AED賃貸借	1,024	使用料	トイレ衛生装置・AED賃貸借	1,102
			備品購入費	備品費	141	公有財産取得費等	公有財産取得費・備品費等	48,171

(単位：千円)

勘定科目		6年度	7年度	差額	勘定科目		6年度	7年度	差額	
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	30,653	21,988	▲ 8,665	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	169,240	175,076	5,836		国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	5,243	4,451	▲ 792		都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	591	567	▲ 24		使用料及び手数料	8,983	9,075	92
		減価償却費	252,691	244,978	▲ 7,713		その他	3,933	3,823	▲ 110
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	12,916	12,898	▲ 18	
		賞与・退職給与引当金繰入額	3,935	2,350	▲ 1,585	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 449,437	▲ 436,512	12,925	
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 6,791	▲ 5,520	1,271	
		行政費用合計(b)	462,353	449,410	▲ 12,943	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 456,228	▲ 442,032	14,196	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	88	88			
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	88	88	当期収支差額(e)+(h)	▲ 456,228	▲ 441,944	14,284			

備考	行政費用では、物件費（光熱水費等）が増加し、小破修繕の減少による維持補修費が減少した。行政収入は、地下駐車場使用料等の貸付料（使用料及び手数料）や、カフェ等の光熱水費受入、グッズ売上等（その他）の収入である。
----	--

問題点・課題	・定期的な保守点検や必要な修繕により、施設の維持管理を行い、予防保全の観点から計画的な修繕を実施し、施設の長寿命化を図る必要がある。 ・各種イベントについて、子育て世代や働く世代が参加しやすい仕組みとする必要がある。 ・ボランティア登録者が気軽に事業に参加できる環境を整えとともに、継続して活動できるよう支援していく必要がある。
--------	--

題	
問題点・課題の改善策	

	令和7年度に取り組む 具体的な改善内容	令和7年度に実施した 改善内容および評価	令和8年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	定期的な保守点検や修繕により、適切な維持管理を図り、施設の長寿命化のために努めていく。	保守点検の結果や設備の故障に対して適切に対応した。	予防保全の観点から定期的な保守点検や修繕により適切な維持管理を図り、施設の長寿命化に努めていく。
②	人気のあるイベントを継続するとともに、働く世代を対象としたイベント等の実施を検討していく。	人気のイベントは継続して実施しつつ、新たに音楽体験イベントや夜間帯利用促進のための大人向けの講座を実施した。	ゆいの森ホールを利用した音楽体験など、幅広い世代を対象としたイベントを引き続き実施していく。
③	講座内容の充実を図るとともに、活動状況の発信や周知等を通じて、ボランティア登録や活動の支援に取り組んでいく。	継続性のある講座内容に見直すことで、ボランティア登録の増加につなげた。また、ボランティア発信の周知活動の支援に取り組んだ。	ボランティア登録者の知識・技術力向上のための講座を実施し、人材育成を図っていく。

他 施 区 状 況 の 実 態	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
	図書館、文学館、子どものための施設が融合した、これまでにない新しいコンセプトの施設である。

況 議 会 （ 要 質 問 旨 状	・平成28年度決特 ・平成29年度決特 ・平成29年度予特 ・令和6年6月会議	ゆいの森あらかわの周知について、ボランティアの活用について サインの見直しについて、カフェの運営について、 事業者と連携したイベントの実施について 適切な施設管理について、魅力あるイベントについて 企画・展示の更なる充実について
---	--	--

事務事業分析シート（令和8年度）

No1

事務事業コード	05-04-02		戦略プラン	● 協働	○ 業務	○ 財務	○ 人事	
事務事業名	子どもひろば運営費		部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課		課長名	岡村	
			担当者名	市川・阿部		内線	2256	
事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード（8年度）		01-05-01	子どもひろば運営費					
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 8年度 ○ 7年度）		○ 建設事業		● それ以外の継続事業			
開始年度	平成 29	（ 2017 ）	年度	根拠	一時預かり実施要綱			
終期設定	○ 有 ● 無	令和 11	（ 2029 ）	年度	法令等			
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	○ 計画		● 非計画		
行政評価 事業体系	分野	V 文化創造都市						
	政策	10 活力ある地域コミュニティの形成						
	施策	02 地域文化とコミュニティの拠点づくり						
目的	子どもとその保護者に安全な居場所を提供するとともに、多様な学びや体験の機会、子育て講座、育児相談等の子育て支援を実施することにより、子どもたちが将来の夢や可能性を育む支援を行う。							
対象者等	主に中学生以下の生徒、児童、乳幼児とその保護者							
内容	【乳幼児（主に遊びラウンジ）】 えほん館との融合を図りながら、雨の日でも安心して過ごすことができる成長に合わせた室内遊具を設置。常駐する保育士等が親子の遊びや交流を支援するほか、子育て講座や育児相談を実施。 【児童、生徒（主に学びラウンジ）】 約50種類の体験キットや理科実験等のワークショップを通じて、体験の機会と居場所を提供。 【乳幼児一時預かり】 区内在住の未就学児（生後6か月以上）、かつ、ゆいの森の館内利用者が対象。 ①利用時間：1時間単位で最大3時間/日まで ②定員：4名 ③利用限度：一人当たり21時間/月 ④費用：1時間当たり500円（兄弟姉妹同時利用の場合は、二人目以降250円）							
経過	平成21年11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置 平成23年 7月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定 平成28年 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 体験キット、星空学習ソフト、デジタル地球儀など小中学生を対象とした体験機器を開発 平成29年 3月26日 開館 令和2年3月26日～4月7日 新型コロナウイルス感染症の影響により、サービスを休止 4月8日～5月29日 新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館 令和2年4月～ 乳幼児一時預かりを委託から直営に変更 7月～ 新型コロナウイルス感染症の影響により、定員制限のうえ再開 令和5年5月8日～ 新型コロナウイルス感染症の5類移行後は、感染対策を継続して運営							
必要性	子どもたちの安全な居場所や自主的な学びの場を提供するとともに、子育て世代のコミュニティの場として活用されており、必要性は高い。							
実施方法	(1直営) (直営の場合 ● 常勤職員 ● 会計年度任用職員)							
指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			5年度	6年度	7年度	8年度 見込み	目標値 (8年度)	
	①	遊びラウンジ利用者数	24,919	25,806	24,920	25,215	39,000	子どものみ
	②	体験キット貸出件数	11,497	12,135	13,894	15,000	27,000	
③	一時預かり利用率（％）	62.0	68.6	61.1	63.9	65.0		
事務事業の分類			分類についての説明・意見等					
8年度		9年度						
重点的に推進		重点的に推進		乳幼児とその保護者や小中学生の居場所として子どもひろばの充実を図っていくとともに、未来を担う子どもたちに様々な体験の機会を提供し、将来へ夢を育む場となるよう、重点的に推進する。				

(単位：千円)										
行政コスト計算書	勘定科目		6年度	7年度	差額	勘定科目		6年度	7年度	差額
	行政費用	給与関係費	32,377	26,467	▲ 5,910	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	2,583	5,328	2,745		国庫支出金	3,190	3,299	109
		維持補修費	0	0	0		都支出金	3,190	3,299	109
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	155	194	39		使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	2,612	2,305	▲ 307
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	8,992	8,903	▲ 89	
		賞与・退職給与引当金繰入額	2,703	1,557	▲ 1,146	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 28,826	▲ 24,643	4,183	
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
		行政費用合計(b)	37,818	33,546	▲ 4,272	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 28,826	▲ 24,643	4,183	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 28,826	▲ 24,643	4,183		

備考	行政費用では、主に給与関係費が多くを占めている。物件費の大幅な増加は、事業に使用するシステム入替に伴う委託料の増が一因である。行政収入では、乳幼児一時預かり利用料（その他）が実績により減少している。
----	---

問題点・	・「学びラウンジ」では、子どもたちの意見やニーズを反映したワークショップの開催や体験キットの企画製作等を実施し、一人ひとりに寄り添った多様な体験機会を提供していく。 ・遊びラウンジについて、子育て世代の交流の場として、交流の促進及び子育て情報の提供を図るとともに、育児支援に関する講座等を実施していく必要がある。
------	---

	令和7年度に取り組む 具体的な改善内容	令和7年度に実施した 改善内容および評価	令和8年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	他機関との連携を継続しつつ、ワークショップの充実を図ること で、子ども達に多様な体験の場を提供する。	他機関と連携した多様なワーク ショップや都事業の子ども向けデジ タル創作体験を実施するなど、体験 機会の充実に取り組んだ。	外部のデジタルワークショップ を順次導入するとともに、子ども の興味に応じた継続的な創作体験 の場を提供する。
②	親子の遊びや交流の支援、安全な 居場所としての環境整備のほか、利 用者の意見を踏まえた子育て講座を 実施していく。	親子の遊びや交流の支援、安全な 居場所づくりに取り組んだほか、子 育て世代に対して座学や運動などの 様々な講座を実施した。	引き続き、親子の交流促進を支 援するとともに、子育て講座の内 容充実に取り組む。
③			

他 区 一 施 状	(実施 22 区		未実施 0 区		不明 0 区)	
	遊びラウンジは、国の事業である「地域子育て支援拠点事業」に基づき実施している。					

議 会 要 覧	・平成29年度	決特	乳幼児一時預かりについて
	・平成30年度	予特	乳幼児一時預かりについて
	・令和元年度	決特	乳幼児一時預かりについて

事務事業分析シート（令和8年度）

No1

事務事業コード	05-04-03		戦略プラン	● 協働	○ 業務	○ 財務	○ 人事	
事務事業名	中央図書館運営費		部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課		課長名	岡村	
			担当者名	奈良		内線	2256	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（8年度）		01-04-01	中央図書館運営費					
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 8年度 ○ 7年度）		○ 建設事業		● それ以外の継続事業			
開始年度	平成 28	（ 2016 ）	年度	根拠	図書館法、図書館条例、荒川区立ゆいの森あらかわ条例			
終期設定	○ 有 ● 無	令和 11	（ 2029 ）	年度	法令等			
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	● 計画 ○ 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進					
目的	豊富な蔵書を整備し、図書館サービスを充実させるとともに、読書活動に親しむことができる多様な事業展開を行うことによって、区民の読書活動を推進し、利用者の課題解決や生涯学習を支援する。							
対象者等	図書館利用者、その他図書館等関係機関							
内容	○多様化するニーズに応え、課題解決を支援できるよう、一般的な資料から専門的な資料まで幅広く購入し、配架方法を工夫する等、誰でも利用しやすい環境を提供する。 ○開架エリアへの特集コーナー等の設置やイベントでの関連展示等、図書館資料の積極的な活用を行う。 ○大規模な蔵書を効率的かつ効果的に管理し、良質なサービスを提供する。 ○えほん館、現代俳句センターなど、特徴となる資料の収集・提供を行い、俳句資料については、現代俳句協会との協定に基づき、関係部署と連携しながら事業を推進する。 ○図書館法や図書館条例等に基づき、公立図書館、学校図書館、街なか図書館と連携し、本が身近にあるまちづくりを推進する。 【蔵書規模】 開架30万冊、閉架30万冊 【図書館資料】 書籍 AV 雑誌 新聞							
経過	昭和37年 3月 荒川図書館開館 平成5年10月 図書館オンラインシステム稼働、平成10年 5月 南千住図書館開館 平成18年 4月 「これからの図書館調査懇談会報告書」、 「荒川区子ども読書活動推進計画」策定（以降、5年ごとに改定） 平成20年 7月 「特色ある図書館づくり」を目指し、分担収集開始 平成29年 3月 中央図書館開館（旧館である荒川図書館は平成28年12月に閉館） 平成30年 5月 「読書を愛するまち・あらかわ」宣言 令和5年 4月 「荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例」施行 令和6年10月 「荒川区電子図書館サービス」試行実施 令和8年 4月 「荒川区読書活動推進プラン」策定							
必要性	多様化するニーズと課題に対応し、区民の読書活動や生涯学習等を支援し、自ら課題を解決することができる環境づくりに必要な事業である。							
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 ○ 常勤職員 ○ 会計年度任用職員 ） 配本車運行業務、図書館オンラインシステム機器保守委託、図書館資料装備委託等							
指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			5年度	6年度	7年度	8年度見込み	目標値(8年度)	
	①	区民1人当たりの蔵書冊数（冊）	4.56	4.44	4.5	4.45	4.8	（全館）蔵書点数÷住基人口
	②	区民1人当たり個人総貸出点数（点）	9.7	9.6	9.0	9.0	10.0	（全館）貸出点数÷住基人口
③	個人登録者数（人）	98,065	102,558	104,932	107,400	130,000	（全館）4月1日現在	
事務事業の分類			分類についての説明・意見等					
8年度		9年度						
重点的に推進		重点的に推進		豊かな心を育む読書のまちづくりを推進していくにあたり、中央図書館は核となる拠点であるため、重点的に推進する。				

予算・決算額等の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
予算額		149,673	215,540	147,028	152,590	172,205	182,028	235,280
決算額（8年度は見込み）		138,218	202,069	137,340	144,938	161,001	163,527	235,280
実績 の 推移	事項名（8年度は見込み）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	入館者数（人）※中央館のみ	355,860	510,961	618,902	684,244	718,631	741,862	749,000
	個人総貸出点数（点）※	608,091	738,031	744,966	738,892	736,477	687,659	695,223
	特集コーナー設置数（回）※	184	220	282	315	272	271	271
	おはなし会開催回数（回）※	32	41	75	117	60	91	91

予算・決算の内訳								
令和6年度（決算）			令和7年度（決算）			令和8年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報酬等	会計年度任用職員（日額）報酬・旅費等	22,746	報酬等	会計年度任用職員（日額）報酬・旅費等	25,899	報酬等	会計年度任用職員（日額）報酬・旅費等	29,523
報償費	各種講座講師謝礼	1,188	報償費	各種講座講師謝礼	2,027	報償費	各種講座講師謝礼	2,178
需用費	図書資料購入費等	52,916	需用費	図書資料購入費等	53,244	需用費	図書資料購入費等	58,878
役務費	配本車運行料等	18,619	役務費	配本車運行料等	19,234	役務費	配本車運行料等	26,619
委託料	図書館オンラインシステム機器保守委託等	36,197	委託料	図書館オンラインシステム機器保守委託等	34,134	委託料	図書館システム機器更改等	88,194
使用料	図書館オンラインシステム機器賃借料等	28,822	使用料	図書館オンラインシステム機器賃借料等	28,548	使用料	図書館システム機器賃借料等	28,862
その他	備品購入費・負担金	513	その他	備品購入費・負担金	441	その他	備品購入費・負担金	1,026

行政コスト計算書	勘定科目		6年度	7年度	差額	勘定科目		6年度	7年度	差額
	行政費用	給与関係費	92,393	89,803	▲ 2,590	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	136,987	135,550	▲ 1,437		国庫支出金	1,966	0	▲ 1,966
		維持補修費	0	0	0		都支出金	30	0	▲ 30
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	1,419	2,269	850		使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	3,426	428	▲ 2,998
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	5,422	428	▲ 4,994
		賞与・退職給与引当金繰入額	9,221	7,173	▲ 2,048		行政収支差額(a) - (b) = (c)	▲ 234,598	▲ 234,367	231
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		240,020	234,795	▲ 5,225	通常収支差額(c) + (d) = (e)		▲ 234,598	▲ 234,367	231	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	
特別収支差額(f) - (g) = (h)		0	0	0	当期収支差額(e) + (h)		▲ 234,598	▲ 234,367	231	

備考	行政費用では、録音図書（カセットテープ）のデジタイ化作業委託、図書館システム機器設定委託及び操作ログ収集及び外部記憶装置制御システム保守委託に係るコスト削減に伴い物件費が減少した。行政収入では、電子図書館サービス導入に係る国庫支出金及びブックスタート事業に係る交付金が減少した。
----	---

問題点・課題
・「荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例」やその理念の具現化を図った「荒川区読書活動推進プラン」の趣旨を踏まえ、様々なイベント等をさらに実施するとともに、誰もが読書に親しめる環境整備を進め、より多様な利用者に向けたサービスの周知や情報発信を行う必要がある。
・新生児が本に触れ合う最初の機会を提供するための「ブックスタート」や、読み聞かせの習慣を継続するための3歳児への「セカンドブック」の参加率を向上させる必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和7年度に取り組む 具体的な改善内容	令和7年度に実施した 改善内容および評価	令和8年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	条例の趣旨を踏まえた様々なイベントを実施するとともに、多様な利用者に向けてさらなる資料収集やサービスの周知を行う。	条例の趣旨を踏まえた様々なイベントを実施するとともに、多様な利用者に向けたさらなる資料収集やサービスの周知を行った。	条例の趣旨を踏まえた様々なイベントを実施するとともに、多様な利用者に向けたさらなる資料収集やサービスの周知を行う。
②	「ブックスタート」及び「セカンドブック」のさらなる周知を図るとともに、ボランティアの活動体制を維持していく。	「ブックスタート」及び「セカンドブック」のさらなる周知を図るとともに、ボランティア養成講座についても継続実施した。	「ブックスタート」及び「セカンドブック」の参加率の向上に向けてさらなる周知を図り、ボランティア体制を維持する。
③			

他 区 の 土 地 利 用 状 況	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）					
	中央図書館については全区が設置し、子ども読書活動推進計画の策定、図書館オンラインシステムの導入がなされている。					

実				
況 (要 旨)	議 会 質 問 状	・令和2年度 ・令和4年度 ・令和4年度 ・令和6年度 ・令和7年度	予特 決特 予特 決特 文教	電子図書の導入について 読書活動について（条例を制定する目的、宣言と条例の違いについて） ブックポストの利用状況・増設について、ブックポストの設置場所について 学習室の利用状況及び予約の運用について 子育て 荒川区読書活動推進プランの策定について

事務事業分析シート（令和8年度）

No1

事務事業コード	05-04-04		戦略プラン	☒ 協働	☐ 業務	☐ 財務	☐ 人事	
事務事業名	吉村昭記念文学館推進事業運営費		部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課		課長名	岡村	
			担当者名	木次		内線	2256	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（8年度）		01-06-01	吉村昭記念文学館運営費					
事務事業の種類	☐ 新規事業（ ☐ 8年度 ☐ 7年度）		☐ 建設事業		☒ それ以外の継続事業			
開始年度	平成 18	（ 2006 ）	年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例			
終期設定	☐ 有 ☒ 無	令和 11	（ 2029 ）	年度	法令等			
実施基準	☐ 法令基準内 ☐ 都基準内 ☒ 区独自基準		計画区分	☒ 計画		☐ 非計画		
行政評価事業体系	分野	V 文化創造都市						
	政策	10 活力ある地域コミュニティの形成						
	施策	02 地域文化とコミュニティの拠点づくり						
目的	荒川区出身の小説家・吉村昭氏及び吉村氏に関連のある作家に関する資料の収集、研究等を行いつつ、同氏の作品等を基盤とした幅広い文化活動を展開することにより、文学に親しむ場を提供するとともに、地域の文化振興に寄与する。							
対象者等	区民等							
内容	○吉村氏に関する資料の収集、整理、保管及びその研究 ○企画展示の計画、展示物の製作などの展示活動 ○講演会や吉村氏・津村節子氏とゆかりのある地との連携等を通じた、吉村氏と吉村作品の普及啓発 ○文学館が地域の文化振興に貢献できるよう、友の会を運営 ○ホームページ等での広報							
	文学館エリア：約540㎡（ゆいの森あらかわ2階・3階の一部、復元書斎を含む） 入館料：無料							
経過	平成 4年度 吉村昭氏区民栄誉賞受賞（5月）、日暮里図書館吉村昭コーナー設置 平成18年度 吉村昭氏逝去（7月31日） 平成26年度 吉村昭記念文学館友の会設立（3月） 平成28年度 吉村昭記念文学館開館（平成29年3月26日）・開館記念企画展（平成29年7月まで） 平成29年度 日本文藝家協会共催事業（7月）、第2回企画展、おしどり文学館協定締結式（11月5日） 令和 2年度 ウェブ企画展、友の会限定イベント実施 令和 3年度 企画展、朗読トーク映像配信（赤江珠緒氏）、おしどり記念朗読会（津田寛治氏）、 令和 4年度 企画展、おしどり記念講演会（谷口桂子氏）、講演会（宮島咲氏）、友の会限定イベント実施 令和 5年度 企画展、講演会（本馬貞夫氏）、朗読会（津田寛治氏）実施 令和 6年度 企画展、映画「雪の花」公開記念特集展示、トークイベント（小泉堯史氏）実施 令和 7年度 企画展、朗読会（神尾晋一郎氏）、上映会（熊嵐ほか）、五館文学めぐり実施							
必要性	吉村氏の功績を後世に伝えとともに、吉村作品を通してさらに広範な文学の世界に触れる機会を広く区内外に向けて提供することで、地域の文化振興や区のPRにも寄与することから、必要性は非常に高い。							
実施方法	（ 1直営 ） （ 直営の場合 ☒ 常勤職員 ☒ 会計年度任用職員 ）							
指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			5年度	6年度	7年度	8年度見込み	目標値(8年度)	
	①	文学館来館者数（人）	49,234	50,511	56,142	60,000	70,000	
	②	事業の参加者数（人）	641	507	716	1,008	800	イベントや講演会等の参加者人数
③	文学館友の会会員数（人）	522	561	626	685	650		
事務事業の分類			分類についての説明・意見等					
8年度		9年度						
重点的に推進		重点的に推進		企画展の開催や友の会会員向けのイベント等を通して、吉村文学の魅力を区内外に広く発信するとともに、地域の文化振興を図る事業であるため、重点的に推進する。				

予算・決算額等の推移			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
予算額			21,141	18,422	18,085	17,796	19,119	22,160	26,578
決算額（8年度は見込み）			16,397	16,903	17,197	16,939	14,761	18,877	26,578
実績の推移	事項名（8年度は見込み）		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	文学館来館者数（人）		32,007	39,244	46,624	49,234	50,511	56,142	60,000
	事業の参加者人数（人）		644	479	596	641	507	716	1,008
	文学館友の会会員数（人）		407	470	520	522	561	626	685
	吉村作品の貸出数（冊）		1,403	1,705	2,032	2,277	2,312	2,322	2,345
予算・決算の内訳									
令和6年度（決算）			令和7年度（決算）			令和8年度（予算）			
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	
報償費	企画展等謝礼	215	報償費	企画展等謝礼	715	報償費	企画展等謝礼	1,606	
需用費	資料購入・印刷製本	1,736	需用費	資料購入・印刷製本	3,342	需用費	資料購入・印刷製本	3,214	
役務費	展示資料等運搬費等	4,463	役務費	展示資料等運搬費等	5,420	役務費	展示資料等運搬費等	9,429	
委託料	企画展展示製作物等	7,456	委託料	企画展展示製作物等	7,910	委託料	企画展展示製作物等	11,332	
使用料	著作権使用料	56	使用料	著作権使用料	633	使用料	著作権使用料	409	
備品購入費	備品購入費	515	備品購入費	備品購入費	462	備品購入費	備品購入費	519	
報酬等	会計年度職員報酬・負担金等	320	負担金等	会計年度職員報酬等	395	負担金等	研修受講料等	69	

(単位：千円)												
行政コスト計算書	勘定科目			6年度	7年度	差額	勘定科目			6年度	7年度	差額
	行政費用	給与関係費	26,112	20,645	▲ 5,467	行政収入	地方税等	0	0	0		
		物件費	14,191	17,729	3,538		国庫支出金	0	0	0		
		維持補修費	0	0	0		都支出金	0	0	0		
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0		
		補助費等	270	776	506		使用料及び手数料	1	14	13		
		減価償却費	0	0	0		その他	823	1,451	628		
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	824	1,465	641		
		賞与・退職給与引当金繰入額	3,314	2,167	▲ 1,147		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 43,063	▲ 39,852	3,211		
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0		
	行政費用合計(b)	43,887	41,317	▲ 2,570	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 43,063	▲ 39,852	3,211				
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0				
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 43,063	▲ 39,852	3,211					

備考	行政費用については、文学館運営のための給与関係費が減少、企画展示にかかる物件費（一般需用費、委託料）と朗読会講師謝礼による補助費等（報償費）が増加した。行政収入では、特別観覧手数料及び吉村昭記念文学館友の会会費（その他）の収入が増加した。
----	---

問題点・課題	・他部署との連携を強化するとともに、福井県ふるさと文学館、三鷹市吉村昭書斎をはじめ、他館や他自治体との連携の幅を広げ、事業を展開することで、来館者の増加を図る必要がある。 ・要望の多いイベント（上映会、朗読会等）の実施により吉村文学の読者層を広げ、来館、友の会新規入会につなげていく。 ・ウェブ・SNS等によるイベント情報の発信を通じ、文学館を身近に感じてもらうことで、若年層等の新たな客層を呼び込み、吉村昭作品の貸出数の増につなげる。
--------	--

題	「 <u>問題点・課題の改善策</u> 」
---	-----------------------

	令和7年度に取り組む 具体的な改善内容	令和7年度に実施した 改善内容および評価	令和8年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	他の作家を取り入れた展示や著名人によるイベント、動画配信等により、新たな客層の獲得を図る。	展示では同人雑誌「文学者」に参加した作家を多数取り上げた。また、声優による朗読会や動画配信を通じ若年層にも作品をPRした。	アンケートにて要望が多かったテーマでの企画展示・イベント、他自治体と連携した文学めぐりの実施により多くの集客を図る。
②	友の会会員向けイベントの実施や魅力的なグッズ制作・周知により、友の会の新規入会や更新につなげる。	イベント時に友の会の紹介やチラシの配布を行いPR活動に努めた。また、友の会会員グッズとしてブックカバーを制作し周知した。	友の会申し込みについて電子申請による受付を導入し、利便性の向上を図りさらなる会員数増加につなげていく。
③	クラウド型収蔵品管理システムを利用し、将来的に収蔵資料の一部ウェブ公開・音声配信等を行えるよう作業を進める。	資料のウェブ公開に向けて、クラウド型収蔵品管理システムへのデータ移行作業を進めた。	さらなる利便性向上のため、ウェブでの資料公開等に向け、導入・運用の課題の整理を行う

施 状 況	他 区 の 実 施	(実施 10 区 未実施 12 区 不明 0 区)
		文学館設置区 港区、新宿区、文京区、台東区、大田区、世田谷区、渋谷区、北区、練馬区、江戸川区

況 議 会 （ 要 質 問 状 ）	・平成18年 三定 記念館の設置要望について ・平成23年 四定 文学館開館に向けた事前周知について ・平成26年度 予特 友の会の設立について ・平成29年度 決特 文学館の周知、友の会、上映会について ・令和6年度 決特 文学館での映画「雪の花 ーとともに在りてー」のPRについて
---	--